



Cisco Intersight Workload Optimizer スタートアップガイド

初版：2020年12月3日

最終更新：2024年4月11日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020–2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

概要 1

Cisco Intersight Workload Optimizer について 1

関連資料 2

フィードバック 2

第 2 章

Intersight Workload Optimizer の開始 3

Cisco ID を使用したログイン 3

Intersight Workload Optimizer の有効化 3

Intersight Assist の展開 (必要な場合) 4

新しいユーザーを作成し、ロールと権限を与える 6

ワークロードの最適化 6

第 3 章

サポートされるターゲットとライセンス要件 7

サポートされるターゲット 7

Intersight Workload Optimizer ライセンス ガイド 7

Intersight Workload Optimizer のライセンス階層 8

Intersight Workload Optimizer のライセンス ステータス 9

Intersight Workload Optimizer のロールと権限 11

第 4 章

既知の問題 13

既知の問題 13



第 1 章

概要

- [Cisco Intersight Workload Optimizer について \(1 ページ\)](#)
- [関連資料 \(2 ページ\)](#)
- [フィードバック \(2 ページ\)](#)

Cisco Intersight Workload Optimizer について

Cisco Intersight Workload Optimizer は、リソースをリアルタイムで動的に最適化してアプリケーションのパフォーマンスを確保する単一のツールです。アプリケーションリソース管理を大幅に簡素化できます。重要な IT リソースを絶えず最適化します。これによって、既存のインフラストラクチャをより効率的に使用できるようになり、オンプレミスおよびクラウドでの運用コストを削減できます。Intersight Workload Optimizer は、リアルタイムの環境に基づいた what-if シナリオを素早くモデル化することで、将来の計画から不確実性を排除します。

Intersight Workload Optimizer は、ワークロードの使用状況、コスト、コンプライアンスの制約を継続的に分析し、リソースをリアルタイムで自動的に割り当てます。必要なリソースを必要となるときにワークロードに提供することで、ワークロードのパフォーマンスを確保します。キャパシティプランニング、複数のクラウドにわたるワークロード分散に役立ちます。

Intersight Workload Optimizer はリアルタイムの意思決定エンジンであり、コストを削減しながら、オンプレミスとパブリッククラウド環境全体でアプリケーションの正常性を確保します。インテリジェントソフトウェアは、ワークロードの需要、リソース消費、リソースコスト、およびポリシーの制約を継続的に分析し、最適なバランスを決定します。Intersight Workload Optimizer にはオペレータ用の AI ツールセットがあり、オペレータに推奨事項を提示し、データセンターとパブリッククラウドのワークロード配置とリソース割り当てをトリガーし、リアルタイムの最適化を完全に自動化します。

Intersight Workload Optimizer を使用することで、インフラストラクチャと運用チームは可視性から益を得、洞察力が向上し、より強力な処置を行えるようになるので、SLA を確実に満たしながら収益を向上させることができます。アプリケーションチームと DevOps チームは、包括的な状況認識をに基づき、高性能で継続的に使用可能なアプリケーションを提供できます。

関連資料

Cisco Intersight Workload Optimizer に関する次のドキュメントは、[Intersight Help Center](#) および [Cisco.com](#) で入手できます。

- Cisco Intersight Workload Optimizer ユーザーガイド [英語]
- Cisco Intersight Optimizer ターゲット設定ガイド [英語]

フィードバック

フィードバック

Cisco Intersight Workload Optimizer でのエクスペリエンスのフィードバックはアプライアンス UI から共有できます。Intersight 右上の [**ヘルプ (Help)**] ドロップダウンリスト (疑問符のマーク) をクリックし、[**フィードバックを送信 (Send Us Feedback)**] を選択します。エクスペリエンスの評価または問題の報告を行ったり、機能の向上に関するコメントを残すことができます。



第 2 章

Intersight Workload Optimizer の開始

- [Cisco ID を使用したログイン](#) (3 ページ)
- [Intersight Workload Optimizer の有効化](#) (3 ページ)
- [Intersight Assist の展開](#) (必要な場合) (4 ページ)
- [新しいユーザーを作成し、ロールと権限を与える](#) (6 ページ)
- [ワークロードの最適化](#) (6 ページ)

Cisco ID を使用したログイン

既存の Cisco Intersight アカウントまたは Cisco ID をすでにお持ちの場合は、ログインしてください。<https://intersight.com/>

新しい Intersight ユーザーの場合は、Cisco Intersight アカウントを作成します。

1. Intersight アカウントを作成する場合は、<https://intersight.com/> にアクセスしてください。Cisco Intersight アカウントを作成するには有効なシスコ ID が必要です。シスコ ID をお持ちでない場合は[こちら](#)から作成してください。
2. [アカウント名 (Account Name)] を入力します。アカウント名には、英字 (a~z、A~Z)、数字 (0~9) またはハイフン (-) のみを含めることができます。

Intersight Workload Optimizer の有効化

トライアルライセンスを使用するか、Intersight Workload Optimizer ライセンスを購入して登録することで、Intersight Workload Optimizer の使用を開始できます。

トライアル用 Intersight Workload Optimizer ライセンスの使用

Intersight のトライアルライセンスを使用して Intersight Workload Optimizer が提供する機能の調査を開始するには、次の手順を実行します。



注目 製品のトライアル ライセンスは 1 回のみ使用できます。

1. Intersight にアカウント管理者権限でログインします。
2. [設定 (Settings)] アイコンから[設定 (Settings)] > [ライセンス (License)] を選択します。
3. [トライアルを開始 (Start Trial)] をクリックします。
4. [Workload Optimizer] を選択します。

Intersight Workload Optimizer ライセンスの購入と登録

Cisco Ordering Tool を使用して、Intersight Workload Optimizer ライセンス階層を購入できます。詳細については、『Cisco Intersight Data Sheet』の「[Ordering Information](#)」を参照してください。

Intersight で Intersight Workload Optimizer ライセンスを登録するには、次の手順を実行します。

1. Intersight にアカウント管理者権限でログインします。
2. [設定 (Settings)] アイコンの[設定 (Settings)] > [ライセンス (License)] から、[登録 (Register)] をクリックします。
3. [トークン設定 (Set Token)] ページで、[製品インスタンス登録トークン (Product Instance Registration Token)] を入力します。[Cisco スマートソフトウェアマネージャ (Cisco Smart Software Manager)] をクリックして、Intersight 登録トークンを取得します。スマートアカウントをお持ちでない場合は、[ここで作成してください](#)。[次へ (Next)] をクリックします。
4. [製品の設定 (Set Product)] ページで、[Workload Optimizer] をオンに切り替え、必要なライセンス階層 (Essentials、Advantage、Premier) を選択します。Intersight Workload Optimizer のライセンス階層の詳細については、「[Intersight Workload Optimizer のライセンス](#)」の項を参照してください。



注目 Intersight Workload Optimizer のプロビジョニングには、最大で 15 分かかります。

Intersight Assist の展開（必要な場合）

Cisco Intersight Assist は、エンドポイント デバイスを Cisco Intersight に追加するのに役立ちます。データセンターには、Cisco Intersight に直接接続しない複数のデバイスを含めることができます。Cisco Intersight でサポートされているが、直接接続しないデバイスには接続メカニズムが必要です。Cisco Intersight Assist は、その接続メカニズムを提供し、デバイスを Cisco Intersight に追加するのに役立ちます。Intersight Assist の導入およびその他の Intersight 機能の適

切なサイジングについては、『[Cisco Intersight Assist Getting Started Guide](#)』を参照してください。

Intersight Assist のリソース要件

Cisco Intersight Assist は、VMware ESXi 6.5 以降に導入できます。ここでは、Cisco Intersight Assist for Intersight ワークロード オプティマイザをインストールして展開するためのシステム要件について説明します。



- 注目
- オンプレミス ターゲットを要求するには、最小サイズで Small の Intersight Assist が必要です。
 - Intersight Assist がすでに展開されている場合は、サイジング要件を確認します。必要に応じて、『[Cisco Intersight Virtual Appliance Getting Started Guide](#)』の「Sizing Options」セクションを参照してサイズ変更の手順を実行します。

リソース要件	システム要件	
	[小 (Small)]	[中 (Medium)]
vCPU	16	24
RAM (GiB)	32	64
ストレージ (GiB 単位)	500	500
設定の導入	最大 1000 の仮想マシン	最大 30000 の仮想マシン
サポートされるハイパーバイザ	VMware ESXi 6.5 以降	

**最大 100,000 台の仮想マシンを導入するには、vCPU を 32、RAM を 96 GB 以上に増やします。

[宛先の登録 (Register Targets)]

新しいターゲットを要求するには、次の手順を実行します。

1. Intersight にアカウント管理者、デバイス管理者、またはデバイス技術者の権限でログインします。
2. [管理 (Admin)] > [ターゲット (Targets)] > [新しいターゲットの要求 (Claim a New Target)] に移動します。
3. [要求に使用可能 (Available for Claiming)] を選択し、要求するターゲット タイプを選択します。
4. [開始 (Start)] をクリックします。
5. 必要な詳細情報を入力し、[要求 (Claim)] をクリックして、要求プロセスを完了します。

ワークロードをモニタし、環境でアクションを実行するためのターゲットの設定の詳細については、『[Cisco Intersight Workspace Optimizer Target Configuration Guide](#)』を参照してください。

新しいユーザーを作成し、ロールと権限を与える

Intersight はロールベースアクセス制御 (RBAC) を提供して、ユーザーロールと権限に基づいて、ユーザーへのシステムアクセスを承認または制限します。Intersight では、組織と呼ばれる論理エンティティを介してリソースを分離することで、アカウントのマルチテナント機能も実現します。Intersight のユーザーロールは、一連の操作を実行するためにユーザーが持つ特権のコレクションを表します。これらのロールはユーザーまたはシステムで定義でき、リソースへのきめ細かいアクセスを提供します。サポートされるロール、関連する特権、組織の作成、ユーザー定義のロール、ユーザー、ユーザーグループの追加、ロールの作成と切り替えの詳細については、[Intersight](#) での [ロールベースのアクセス制御](#) を参照してください。

ワークロードの最適化

Intersight にログインしたら、[ワークロード最適化 (Workload Optimizer)] > [概要 (Overview)] に移動して、Intersight Workload Optimizer が提供する機能の使用を開始します。

[概要 (Overview)] から、[表示 (View)] を選択して、環境の概要を表示します。Intersight Workload Optimizer の他のページに移動します。以下のものがあります。

- [検索 (Search)] : 環境についての詳細にドリルダウンするためのセッション範囲を設定します。
- [プラン (Plan)] : what-if シナリオを実行します。
- [配置 (Place)] : Intersight Workload Optimizer を使用してワークロードの最適な配置を計算し、指定した時間に配置を実行するよう設定します。
- [ダッシュボード (Dashboard)] : 環境の詳細に焦点を当てたチャートを使用してカスタムビューを設定します。
- [設定 (Settings)] : ビジネスルールとポリシーを設定し、ターゲットを設定し、グループの定義を行い、その他の管理タスクを実行するように Intersight Workload Optimizer を設定します。

Intersight Workload Optimizer の使用の詳細については、『[Cisco Intersight Workload Optimizer Target Configuration and User Guide](#)』を参照してください。



第 3 章

サポートされるターゲットとライセンス要件

- サポートされるターゲット (7 ページ)
- [Intersight Workload Optimizer ライセンス ガイド](#) (7 ページ)
- [Intersight Workload Optimizer のライセンス階層](#) (8 ページ)
- [Intersight Workload Optimizer のライセンス ステータス](#) (9 ページ)
- [Intersight Workload Optimizer のロールと権限](#) (11 ページ)

サポートされるターゲット

サポートされているターゲットと設定要件のリストについては、『[Cisco Intersight Workload Optimizer Target Configuration and User Guide](#)』の「Target Configuration」を参照してください。

Intersight Workload Optimizer ライセンス ガイド

Cisco Intersight Workload Optimizer は、複数の階層でサブスクリプションベースのライセンスを使用します。お客様は、1 年間、3 年間、または 5 年間のサブスクリプションを購入し、選択したサブスクリプション期間に合わせて階層を選択できます。測定単位は、仮想マシンインスタンスの数または仮想デスクトップインスタンスの数です。Intersight Workload Optimizer は SaaS 専用での提供となります。

Cisco Ordering Tool を使用して、これらの Intersight Workload Optimizer ライセンス階層を購入するか、Intersight からトライアルを開始できます。

- **Cisco Workload Optimizer Essentials** : Cisco Intersight Workload Optimizer Essentials を使用すると、オンプレミスとパブリッククラウドの両方でハイブリッドクラウドインフラストラクチャを最適化できます。
 - この層では、コンピューティング、ハイパーコンバージドシステム、ハイパーバイザ、ストレージ、およびネットワークデバイスがサポートされます。

- ハイブリッドクラウドインフラストラクチャの継続的な最適化、キャパシティプランニング、ワークロード配置、および推奨アクションの自動化がサポートされます。
- **Cisco Workload Optimizer Advantage** の利点：Essentials 階層で提供される機能に加えて、Advantage 階層は次の機能を拡張します。
 - コンテナ、パッケージ化されたアプリケーションおよびデータベース、フルスタック最適化および自動化によるワークフロー統合のサポート。
 - コンテナ (Kubernetes) ポッドとリソースの最適化 (水平および垂直スケーリング、サイジング、配置)。
 - データベース サーバーとデータベース サービス。
 - アプリケーションサーバーとアプリケーションパフォーマンス管理 (AppDynamics) の統合。
- **Cisco Workload Optimizer Premier**：Premier 階層は、Advantage 階層で提供される機能に加えて、次の機能を拡張します。
 - サードパーティの APM ツールとオープン ソース/ API ベースの独自のツールからのデータを取り込み、可視化し、関連付けて、エンドツーエンドのビューを提供します。

Intersight Workload Optimizer のライセンス階層

次の表に、ライセンス階層によって配布される Intersight ワークロード オプティマイザの機能を示します。

カテゴリ	機能	Essentials	Advantage	Premier
インフラストラクチャ	パブリッククラウド/インスタンス	✓	✓	✓
	オンプレミス/ハイパーバイザ 非 UCS コンピューティング	✓	✓	✓
	ハイパーコンバージド - HyperFlex 非 HyperFlex	✓	✓	✓
	ストレージ	✓	✓	✓
	ネットワーク対応配置	✓	✓	✓
	[VDI]	✓	✓	✓

カテゴリ	機能	Essentials	Advantage	Premier
コンテナ、AppDynamics、パッケージ化されたアプリケーションおよびワークフロー	コンテナ/ポッドの水平/垂直拡張		✓	✓
	コンテナのライトサイジング、クラスタスケールリング、ポッドの再配布		✓	✓
	アプリケーションパフォーマンスモニタリング - AppDynamics <ul style="list-style-type: none"> • 全てのスタッフのための 360 度の展望。ビジネス、App/Dev、SRE、CloudOps および IT • AI を利用したアプリケーションリソース割り当て 		✓	✓
	アプリケーションサーバー/JVM、データベースサーバー、および Tomcat、Websphere などのデータベースサービス*		✓	✓
	ServiceNow* のようなワークフロー統合		✓	✓
サードパーティ APM および非 APM (オープンソース)	Dynatrace* のようなアプリケーションパフォーマンスモニタリング (APM) 統合			✓
	アプリケーションパフォーマンス拡張 (APEX) の受け入れ、関連、カスタム メトリックスの可視化			✓



重要 *名称は例示のためにのみ挙げられています。サポートされているターゲットについては、[Cisco Intersight Workload Optimizer ターゲット構成およびユーザー ガイド](#) を参照してください。

Intersight Workload Optimizer のライセンス ステータス

Intersight Workload Optimizer アカウントのライセンス状態は、サブスクリプションのステータスに応じて次のいずれかになります。

- **[未使用 (Not Used)]**: このステータスは、ライセンス階層の VM/ワークロード

- **[コンプライアンス (In Compliance)]** : アカウントのライセンス状態はコンプライアンスであり、サポートされているすべての機能をユーザーが使用できます。
- **[コンプライアンス逸脱 (Out of Compliance)]** : 次の場合、アカウントライセンスのステータスに **[コンプライアンス逸脱 (Out of Compliance)]** と表示されます。
 - サブスクリプションの期間が終了したか、使用可能なライセンスよりも多くの VM / ワークロードがライセンス階層にあるため、十分な有効なライセンスがない場合。
 - 90 日間の猶予期間がアクティブまたは期限切れの場合
 - VM / ワークロードはアカウントに追加されていますが、スマート ライセンス アカウントに登録されていません

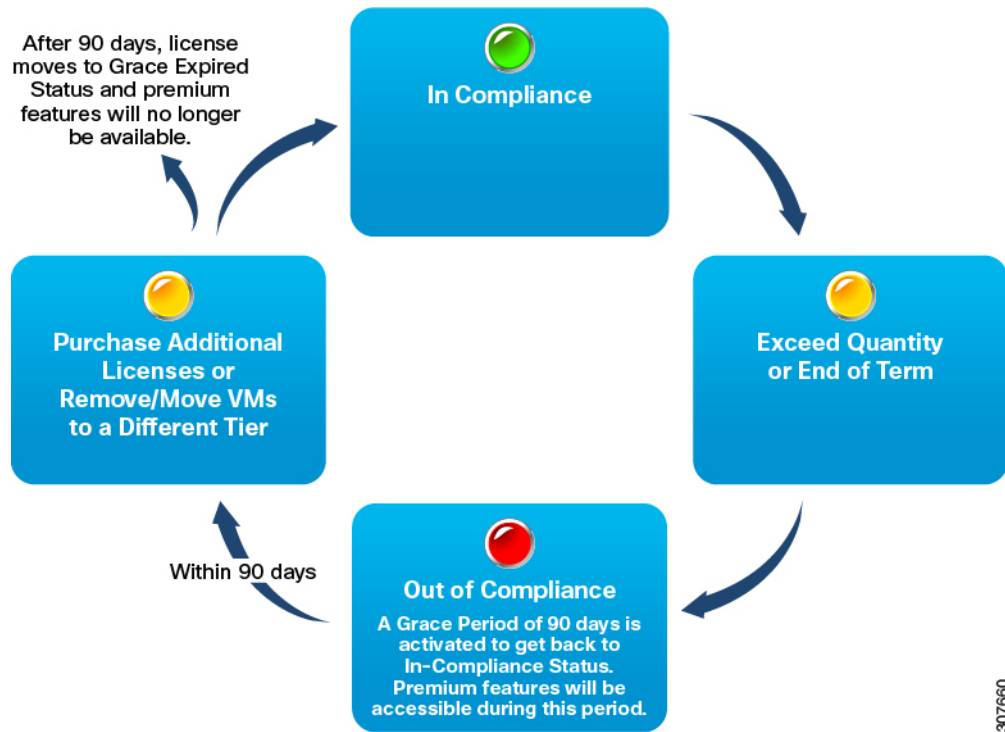


注目

- 複数のライセンス階層は、Workload Optimizer ではサポートされていません。
 - Cisco Smart Licensing ポータルから追加のライセンスを購入してアクティブにした後、**[サブスクリプション (Subscription)]** ペインの **[更新 (Refresh)]** アイコンをクリックして、ポータルのライセンス ステータスと同期します。
-

新しい Intersight ユーザーは、登録ライセンスなしで 45 日間、Intersight Workload Optimizer を評価できます。トライアル期間中は、Intersight Workload Optimizer のプレミアム階層の機能を使用できます。評価期間の詳細は、**[ライセンス (License)]** ページ (**[設定 (Settings)]** の下) で確認できます。**Workload Optimizer のトライアルライセンスを使用できるのは 1 回だけです** Intersight Workload Optimizer の使用を続行するには、トライアル期間が終了し、ステータスが **[トライアル期限切れ (Trial Expired)]** に移行する前に有効なライセンスをアクティブにする必要があります。

アカウント ライセンスのステータスが **[コンプライアンス逸脱 (Out of Compliance)]** に移行すると、90 日間の猶予期間がトリガーされます。この期間中は、プレミアム機能を引き続き使用できますが、アカウントライセンスのステータスはコンプライアンス逸脱のままです。コンプライアンスに戻すには、追加のライセンスを購入するか、既存の階層から VM / ワークロードを削除するか、下位の階層に移動する必要があります。90 日以内にライセンスを更新しない場合、ライセンスの状態は **[猶予期限切れ (Grace Expired)]** に移行し、ライセンスは基本レベルの機能にダウングレードされ、プレミアム機能は使用できなくなります。機能の使用を再開するには、有効なライセンスを再登録する必要があります。たとえば、アカウントに 20 の VM / ワークロードの有効なライセンスがあり、そのアカウントに別の VM / ワークロードを要求すると、ステータスは **[コンプライアンス逸脱 (Out of Compliance)]** に移行し、猶予期間が開始されます。ただし、以前と同様に機能にアクセスできます。**[コンプライアンス (In Compliance)]** ステータスを復元するには、VM / ワークロードの 1 つを下位階層 (必要に応じて **[Essentials / Advantage]**) に移動します。



Intersight Workload Optimizer のロールと権限

Intersight はロールベースアクセス制御 (RBAC) を提供して、ユーザーロールと権限に基づいて、ユーザーへのシステムアクセスを承認または制限します。Intersight のユーザーロールは、ユーザーが実行する必要がある一連の操作の権限のコレクションを表し、きめ細かなリソースへのアクセスを提供します。Intersight は個々のユーザーまたはグループの一連のユーザーにロールベースのアクセスを提供します。Intersight のロールと権限の完全なリスト、およびロールと権限の管理の詳細については、[Intersight](#)での[ロールベースのアクセス制御](#)を参照してください。

Intersight Workload Optimizer のロール	権限
Workload Optimizer のオブザーバ	Workload Optimizer のオブザーバは、環境の状態と推奨アクションを表示できます。プランを実行したり、推奨アクションを実行したりすることはできません。
Workload Optimizer のアドバイザー	Workload Optimizer のアドバイザーは、すべてのワークロードオプティマイザのチャートとデータを表示し、プランを実行できます。ワークロードを予約したり、推奨アクションを実行したりすることはできません。

Intersight Workload Optimizer のロール	権限
Workload Optimizer のオートメータ	Workload Optimizer のオートメータは、推奨されるアクションを実行し、ワークロードを展開できます。何らかの管理タスクを実行することはできません。
Workload Optimizer のデプロイヤ	Workload Optimizer のデプロイヤは、すべての Workload Optimizer のチャートとデータを表示し、ワークロードをデプロイし、ポリシーとテンプレートを作成できます。プランを実行したり、推奨アクションを実行したりすることはできません。
Workload Optimizer の管理者	Workload Optimizer の管理者は、Workload Optimizer のすべての機能にアクセスし、管理タスクを実行して Workload Optimizer を設定できます。



第 4 章

既知の問題

- [既知の問題 \(13 ページ\)](#)

既知の問題

ここでは、Intersight Workload Optimizer を使用する際の一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

Google Cloud 課金情報

問題	解像度
状況によっては、Google Cloud 課金情報の検出が <i>IllegalStateException</i> で失敗します。ログに次のエラーが表示されます。 Discovery failed: CRITICAL: IllegalStateException: Failed to access feature flag FF<Enable GCP billing additive discovery=unknown>: no store attached	なし。

Intersight Assist

問題	解像度
[ターゲット (Targets)] テーブルビューで Intersight Assist の [要求元 (Claimed By)] を選択する必要があるターゲットの場合、Intersight Assist を要求したユーザーに設定されます。	ターゲットを要求した正しいユーザーの詳細については、監査ログを表示します。
すべてのターゲットを削除した後に Intersight Assist を削除すると失敗することがあります。	Intersight の右上の [ヘルプ (Help)] ドロップダウンリスト (疑問符のマーク) をクリックし、[フィードバックを送信 (Send Us Feedback)] を選択します。

ターゲット

問題	解像度
Amazon Web Services ターゲットの削除に失敗することがあります。	Amazon Web サービスターゲットの削除を再試行してください。
Kubernetes ターゲットを削除しても、サプライチェーン内の Kubernetes エンティティは自動的に削除されません。	Intersight の右上の [ヘルプ (Help)] ドロップダウンリスト (疑問符のマーク) をクリックし、[フィードバックを送信 (Send Us Feedback)] を選択します。

Intersight 仮想アプライアンスの推奨アクション

問題	解像度
Intersight 仮想アプライアンスの推奨アクションは不正確な場合があります。	Intersight 仮想アプライアンスの推奨アクションを無視します。

仮想マシンのカウント

問題	解像度
[ライセンス (License)] ページに表示される VM の数が正しく更新されない可能性があります。	Intersight の右上の [ヘルプ (Help)] ドロップダウンリスト (疑問符のマーク) をクリックし、[フィードバックを送信 (Send Us Feedback)] を選択します

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。